

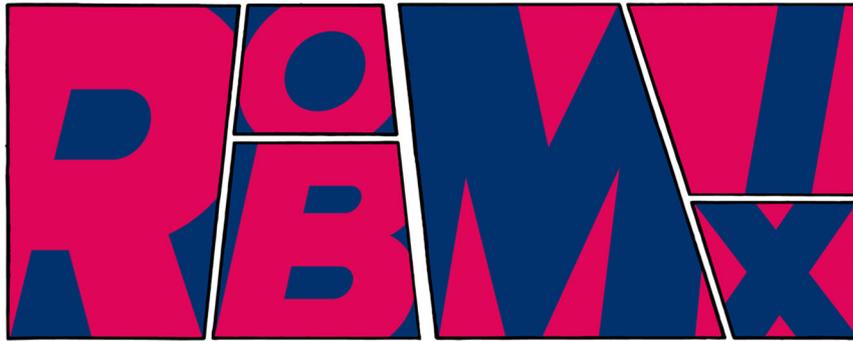
2025年7月1日

## 電通、GeekOut および講談社クリエイターズラボとの協働で、 新レーベル「ROBMIX」を始動

－ Roblox 上の次世代クリエイター発掘・育成および IP 創出を推進 －

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑、以下「電通」）は、株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 グローバル CEO：五十嵐 博、以下「電通グループ」）、Roblox 上でコンテンツを開発・展開する GeekOut 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：田中 創一郎、以下「GeekOut」）<sup>\*1</sup>、講談社クリエイターズラボ（株式会社講談社 本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間 省伸、以下「講談社」）<sup>\*2</sup>との協働で、没入型ソーシャルプラットフォーム Roblox を通じた次世代クリエイターの発掘・育成と、新規 IP・コンテンツ開発やメディア MIX 展開を目的に、この協働プロジェクトを新レーベル「ROBMIX」<sup>\*3</sup>と名付け、始動します。

電通グループは昨年、世界中のオンライン・ソーシャルプラットフォームで創作コンテンツをシェアする次世代クリエイターを支援する「House of Creators」<sup>\*4</sup>を開始しました。その第1弾は、Roblox 社をパートナーとして推進しており、「ROBMIX」はその一環の施策となります。



< 「ROBMIX」 ロゴ :

本レーベルが目指す Roblox×Comics などメディア MIX 展開を象徴する >

Roblox のユーザーは約 1 億人となり（全世界のデイリーアクティブユーザー数）、自らのアバターを通じて友人や世界中のプレイヤーとリアルタイムに交流しています。また、Roblox 上の膨大な数のバーチャルエクスペリエンス（コンテンツ）を探索し、ゲーム、冒険、学習など多種多様なコンテンツなどを楽しんでいます。

これらのエクスペリエンスは、世界中に存在する数百万人の次世代コンテンツクリエイターによって自発的に開発されており、ゲームやバーチャル空間を自由に制作できる Roblox ならではの独自性が、継続的なイノベーションとコミュニティの成長を促しています。

ROBMIX では、誰もがクリエイターになれる次世代のエンターテインメント潮流の先駆けとなるべく、Roblox に集う次世代のコンテンツクリエイターと日本 IP との共創をテーマに活動します。幅広いネットワークとビジネスプロデュースを強みとする当社グループは、GeekOut と講談社の持つケイパビリティや事業アセットを活用して、主に次の4つの取り組みを行います。

#### 1. 新規 IP の開発：

Roblox を中心としたコンテンツ開発および新規 IP（作品/キャラクター/世界観/マンガ）の創出。

#### 2. 既存 IP の Roblox 上の展開：

既存 IP コンテンツを Roblox に最適化し、新たなエクスペリエンスとして展開。

#### 3. クリエイター支援：

Roblox 以外のプラットフォームで活躍するゲームクリエイターの新たな活躍の場として、Roblox 上でのコンテンツ開発の機会・環境の提供。

#### 4. Roblox エクスペリエンスのメディア MIX 展開：

Roblox で既に人気を博している IP のマンガ化、絵本化、グッズ化など、プラットフォーム外における多様なメディア MIX 展開。

電通は、日本のメディア企業や IP ホルダーのビジネス変革・海外展開支援の取り組みを強化しています。本取り組みを通じて、エンターテインメントビジネスのさらなる興隆に貢献すると共に、ひとりでも多くの次世代コンテンツクリエイターが世界中でより多くの熱狂を社会に生み出していけるようにします。また、引き続きテクノロジーとクリエイティビティの交差点から生まれる新たな表現を通じて、次世代を担う才能の育成・支援に取り組んでいきます。

※1 GeekOut 株式会社は、世界最大手の没入型ソーシャルプラットフォームを運営する Roblox および国内外の開発スタジオと連携して、IP や企業ブランドのイマーシブメディア展開やクリエイターコミュニティとの共創を推進しています。

URL：<https://geek-out.io/>

※2 2021 年 6 月に講談社内にも新設された新規事業開発部署。「すべてはクリエイターのために」をスローガンに掲げ、以下を主業としています。

- ・「DAYS NEO」などの投稿サイトの運営
- ・インディーゲームクリエイター支援プロジェクト「講談社ゲームクリエイターズラボ」の運営
- ・映像クリエイター支援プロジェクト「講談社シネマクリエイターズラボ」の運営
- ・講談社作品の「世界観」を拡張するメタバース、XR、NFT コンテンツの開発
- ・「世界観（IP）」を「出版」に限らないさまざまな形で「コンテンツ」化する研究＆開発

URL：<https://creatorslab.kodansha.co.jp/>

※3 レーベルとは、4 社が取り扱うコンテンツを分類するための名称であり、同時に、各社の強みを組み合わせて行うビジネス活動に対して独自に付けられた名称でもあります。

※4 「House of Creators」プロジェクトの詳細は下記リリースをご覧ください。

URL：<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001304.html>

以上

**【リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部  
河南、抱井、早川

**【事業に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 メディア・コンテンツ・トランスフォーメーション局  
布瀬川、大澤

Email : [koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)